

(案)

令和 2 年 3 月 日

酒田市長 丸山 至 様

酒田市子ども・子育て会議
会 長 白旗 希実子

酒田市子ども・子育て支援事業計画の策定について（答申）

酒田市子ども・子育て会議は、令和 2 年 7 月 1 8 日付け酒子発第 2 5 1 号にて諮問のありました、酒田市子ども・子育て支援事業計画の策定について、公募による委員を含め、教育・保育・子育て等に関係する 2 0 名の委員により議論を重ねてまいりました。

これについて、審議結果をとりまとめ下記のとおり成果品として答申いたします。当会議としては、本答申を踏まえ、人口減少と少子高齢化の進行の中で実効性の高い「酒田市子ども・子育て支援事業計画」を策定されるよう希望します。

記

成果品

- 1 酒田市子ども・子育て会議 まとめ
- 2 酒田市子ども・子育て支援事業計画（素案）

(案)

酒田市子ども・子育て会議 まとめ

【計画の基本的な考え方と計画の方向性について】

少子化高齢化の進行、家庭や地域を取り巻く環境の変化や酒田市の現状を踏まえ、「一人ひとりの子どもの健やかな成長としあわせの実現（子どもの最善の利益の実現）」という視点と、人口減少に歯止めがかからない中、「子どもとその家族が安心して暮らせる魅力ある持続可能な地域社会の形成」という視点に基づき、子どもとその保護者に必要な支援について議論を行いました。

計画素案では、次世代育成支援、子ども・子育て支援及び子どもの貧困対策に関する取り組みの方向性を整理して示しています。計画策定にあたっては、特に次のことについて配慮されるよう求めます。

- 1 子どもの健やかな育ちを支えるために必要な支援の量の確保と質の向上
- 2 子どもの育ちの連続性を踏まえた、幼児期の教育・保育から小学校教育への、また小学校教育から中学校教育への円滑な接続
- 3 すべての子どもが大切にされ健やかに成長できるよう、ひとり親、貧困、児童虐待等の家庭環境に伴う課題を抱える子どもや障がいのある子どもが、社会に出るまで切れ目のない支援を受けられる体制と関係機関の連携強化
- 4 仕事と子育てが両立できる働きやすい職場環境の整備促進
- 5 屋内型遊戯施設の設置など、子どもや保護者が子育てを楽しむことができる環境の整備

【計画の推進について】

計画の進捗状況を毎年点検・評価し、個別の課題についての整理やその解消に向けた検討を行っていく必要があります。計画の推進にあたっては、次のことに配慮されるよう求めます。

- 1 子ども・子育て支援が市全体の共通課題として広く認識される必要があるため、市民や事業者にとって分かりやすい方法で施策等の周知に努めること
- 2 市全体での取り組みとするため、保護者、子ども・子育て支援関連事業者、一般事業者、地域が相互につながり子どもの健やかな育ちと子育て支援を社会全体で分かち合う機運を醸成すること
- 3 国県等の施策の動向や他地域での先進的な取り組み等について考慮するとともに、官民や所属部署の枠にとらわれず協働して施策を展開すること